

松戸市立総合医療センター後期研修プログラム（麻酔科）

1. 研修対象者

初期臨床研修修了者で麻酔科専門領域の研修を希望する医師。あるいは、外科系専門医として麻酔業務の研修を希望する医師。

2. 研修期間

原則として2年（厚生労働省麻酔科標榜許可並びに日本麻酔科学会麻酔科認定医取得目標）。麻酔業務の研修では3ヶ月～1年の期間で受け入れる。

3. 研修カリキュラム

日本麻酔科学会教育ガイドラインに則り、麻酔薬の薬理学、神経、呼吸、循環生理学、酸塩基平衡、体液電解質、輸液、輸血の生理学等の基礎を理解し、実際の麻酔を通じて、患者合併症の理解と評価、各種生体モニタリング法と評価、気道管理法、吸入麻酔、静脈麻酔、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔法、各科手術の麻酔法を学ぶ。

当院では、腹部外科、呼吸器外科、小児科、心臓血管外科、脳外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、小児外科、救急部よりの多彩な症例により、麻酔専門医として経験すべきほとんどの分野の麻酔を研修できる。手術室での安全性、環境整備等の管理、リスクマネジメントも学ぶ。

手術室の麻酔以外に、集中治療部門での栄養管理、人工呼吸管理、人工透析法、手術後の重症管理を学ぶ。また、救急部での3次救急患者管理も学ぶ。基礎的神経ブロックの手技習得。

レジデントとして症例検討、各種学会での研究発表、初期研修医の麻酔研修の教育を通じて研鑽を積む。

4. 研修システムの特徴

当院は日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院であり、2年間の研修により麻酔科標榜許可が得られ、麻酔科認定医の資格が取得できる。また、総合的な麻酔研修をもとに、小児麻酔、心臓（小児）麻酔、周産期麻酔等サブスペシャリティの研修も可能である。麻酔科専門医認定申請に必要な研修単位を修得できる。

5. 指導スタッフの概要

麻酔科部長 萬伸子（日本麻酔科学会麻酔科専門医、指導医）

麻酔科部長 北村祐司（日本麻酔科学会麻酔科専門医、指導医）

6. 研修終了後の進路

当院でのスタッフとして麻酔業務を行いながら専門医を目指す。千葉大学、他大学大学院での研究学位習得を目指す。また広い分野での研鑽を目指し、千葉大学麻酔科関連病院（千葉県がんセンター、県こども病院、県救急医療センター、県循環器病センター、国立病院千葉医療センター、成田赤十字病院、君津中央病院、沼津市立病院、栃木が

んセンター、等多数)を紹介し、ICU、救急医療、緩和ケアなどの麻酔科臨床を深める。多くの臨床研鑽を積み、麻酔科医として、患者の全身管理を学び、重症患者の医療向上と安全性確立を目指す。